

## 次期の見通し(2016年3月期)

### 売上収益

**1,351億円** 前期比 **0.5%減**

2型糖尿病治療剤の「グラクティブ錠」「フォーシーガ錠」、世界に先駆けて昨年9月に発売した抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」などの主要新製品の売上拡大を図るものの、ライセンス収入の減少や、引き続き後発医薬品使用促進策の影響による長期収載品の売上減少が予想されることから、次期の売上収益は前期比7億円(0.5%)減の1,351億円を予想しています。

### 税引前当期利益

**165億円** 前期比 **9.9%減**

営業利益の減少、ならびに低金利などの影響により金融収支の減少が見込まれることから、次期の税引前当期利益は前期比18億円(9.9%)減の165億円を予想しています。

### 営業利益

**140億円** 前期比 **5.4%減**

退職給付制度の改定により人件費が減少するものの、製品構成の変化(原価率の低い製品が減少し、高い製品が増加)による売上原価の増加に加え、オプジーボ関連の開発費用や新製品の営業活動費用、市販後調査費用の増加が見込まれることから、次期の営業利益は前期比8億円(5.4%)減の140億円を予想しています。

### 親会社の所有者に帰属する当期利益

**116億円** 前期比 **10.6%減**

税引前当期利益の減少により、法人税等の税金費用の減少が見込まれることから、次期の親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比14億円(10.6%)減の116億円を予想しています。